

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2019年9月12日

日本・ベトナム両国の産学官より、計 194 名が参加
ベトナム・ハノイ市で「Aureole カンファレンス 2019」を開催
～現地人材を現法役員・幹部社員として登用する実情を議論～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、ベトナムの経済発展において重要なテーマである「人材育成・人材開発」に関し、基調講演やパネルディスカッション、ネットワーキング交流会を実施する「Aureole (オレオ) カンファレンス 2019」を、9月11日（水）14時よりベトナム・ハノイ市内のホテルにて開催しました。本年度のカンファレンスは、在ベトナム日本国大使館 三等書記官の内山 真一氏、ベトナム政府教育訓練省 国際協力局副局長の Nguyen Thi Thanh Minh 氏より来賓のご挨拶を賜り、それに続く講演では企業・教育機関から4名の有識者をお招きしました。日本・ベトナム両国の産学官より計 194 名の参加者が熱心に耳を傾け、意見交換を行いました。

■ベトナムにおける人材育成イベント開催の背景

近年非常に多くの日系企業が進出しているベトナムでは、経済成長を推進するうえで高度産業人材の育成が重要なテーマとして掲げられ、ベトナム政府により教育環境の整備が進められています。

そしてまた、現地の日系企業にとっても人材育成は大きなテーマとなっています。特に、ベトナムをものづくりの拠点とする日系企業にとっては、工場で働く社員が特定の技術を持つことだけでなく、ものづくりに向き合うマインドセットや、現場での柔軟な対応力を身に付けることが重要な課題とされます。

しかし、こうした日系企業の考え方は、ベトナム政府・教育機関の重視する点とはギャップがあるのが現状です。

こうした背景から、三谷産業は、ベトナムに1994年に進出して以来さまざまな事業を通じて培ってきた経験とネットワークを活かし、2015年よりベトナム政府および関連機関、主要大学ならびに企業各社の方々が集う場として、「Aureole カンファレンス」を開催してきました。

■日系企業のベトナムでの発展に不可欠な「コア人材の育成」をテーマに議論

これまでの過去4回を通じて、技能面だけでなく技術者精神・職業人としてのマインドセットが必要であること、さらにそれを大学とも連携して教育していくとともに、ものづくりの現場での成長を促す組織力の強化が重要であると議論してきました。

そして第5回となる本年は、組織が自律的に成長していくために不可欠な「コア人材の育成」を開催テーマに掲げました。社会環境が大きく変化し、経営のスピード化や効率化が必要な時代に、ベトナムに進出している日系企業が発展していくために不可欠な、組織の中核的な役割を担う人材をいかに育成していくかについて議論しました。



当社代表取締役社長 三谷 忠照による主催者挨拶



参加者席の様子

日系企業が今後もベトナムで事業を発展させるとともに、それがベトナムの長期的な繁栄につながっていくためには、両国が互いに歩み寄り、理解を深め、ともにさまざまな課題に取り組んでいくことが重要です。

三谷産業は、今後も、25年にわたるベトナムでの経験やネットワークを活かし、ベトナムにおける人材育成の取り組みに注力してまいります。

■ 「Aureole カンファレンス 2019」 概要

1. イベント名 Aureole カンファレンス 2019 - コア人材の育成 -

2. 日 時 2019年9月11日（水） 14:00～18:50（ベトナム時間）

3. 会 場 HOTEL du PARC HANOI（ベトナム・ハノイ市）

4. 参加者数 計 194名（日本人 88名、ベトナム人 106名）

5. プログラム

14:00 - 14:20 **開会**

主催者挨拶

三谷産業株式会社 代表取締役社長 三谷 忠照

14:20 - 14:40 **来賓挨拶**

在ベトナム日本国大使館 三等書記官 内山 真一 氏
教育訓練省 国際協力局 副局長 Nguyen Thi Thanh Minh 氏

14:40 - 16:20 **講演 A 「コア人材の育成、について」**

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 特任教授 小杉 俊哉 氏

講演 B 「人材開発および人材エンゲージメントにおけるデジタルトランスフォーメーション」

FPT ソフトウェア株式会社 執行役員 人事部長 Phan Manh Dan 氏

講演 C 「FCV におけるコア人材育成と今後のアプローチについて」

Fujitsu Computer Products of Vietnam, Inc. 代表取締役社長 渡辺 伸寿 氏

16:40 - 17:30 **パネルディスカッション**

<コーディネーター>

慶應義塾大学大学院 理工学研究科 特任教授 小杉 俊哉 氏

<パネリスト>

FPT ソフトウェア株式会社 執行役員 人事部長 Phan Manh Dan 氏

株式会社 SOOL 代表取締役社長 深澤 祐馬 氏

Fujitsu Computer Products of Vietnam, Inc. 代表取締役社長 渡辺 伸寿 氏

17:50 - 19:00 **ネットワーキング交流会**

(補足情報)

【過去の Aureole カンファレンス開催実績】

第1回 (2015年11月)

開催場所： ハノイ市内 INTERNATIONAL CONVENTION CENTRE

内 容： ベトナムにおける人材育成について、技能訓練やスキル教育といった工学的側面のみならず、働く作法や技術者としての心構えなど、心理的側面からのアプローチも同等に必要とされていることについて議論しました。

第2回 (2016年9月)

開催場所： ホーチミン市内 REX HOTEL

内 容： インターンシップとチームビルディングに焦点を当て、ベトナム人人材が技術者としてのマインドセットを養うために重要となる、大学と企業が取り組む課題とその成果について議論しました。

第3回 (2017年9月)

開催場所： ハノイ市内 INTERNATIONAL CONVENTION CENTRE

内 容： 組織力に焦点を当て、ベトナムにおける外資系企業が現地法人の自立化を進める上で直面する課題を明らかにするとともに、個人の力だけでなく、組織としての力を高めていくための教育や人材育成の重要性を確認しました。

第4回 (2018年9月)

開催場所： ホーチミン市内 REX HOTEL

内 容： 「現場の活性化」をテーマに、多くの日系企業が課題とするベトナム人社員を主体とした現場力や組織力の向上について議論し、一人ひとりの自律的な行動を誘発するための仕組み・仕掛け、雰囲気づくりが重要であると共有されました。

【三谷産業グループについて】

三谷産業グループは、化学品、樹脂・エレクトロニクス、情報システム、空調設備工事、住宅設備機器、エネルギーの6つの事業を持つ複合商社です。1928年に金沢で創業して以来、現在は、金沢と東京の二本社体制を持つ三谷産業株式会社を中心に、子会社27社（日本17社、海外10社）で事業展開しています。商社でありながらも、製造・物流などの機能をあわせ持ち、さらに技術部門とも連携した提案型営業を推進しています。

【Aureole グループについて】

三谷産業のベトナム子会社の総称を Aureole (オレオ) グループと称しています。“Aureole”とは、フランス語



で「栄光」を意味する言葉であり、ベトナム子会社の社名に冠しています。三谷産業が1994年にベトナム・ホーチミン市において事業を開始し、2019年9月現在ではベトナム国内において、現地子会社7社およびハノイ・ホーチミン駐在事務所合わせて15拠点、現地社員数は2,200人超の規模になっています。事業内容は、化学品・健康食品原料の製造・販売、建築設備のCAD設計、情報システムのオフショア開発・システムインテグレーション、自動車部品向け樹脂成形品の製造など多岐にわたり展開しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

日本窓口： 三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部 TEL： 03-3514-6003
ベトナム窓口： 三谷産業株式会社 ベトナム広報戦略室 TEL： +84-28-3821-9110